

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会 長：中本高夫 編集責任者：南 順三 印刷所：東京印刷(株)



中本会長

次年度会長の母

武海次年度会長

(武海次年度会長中央会略歴)

平成6年度 7月入会 平成8年度 経営委員会副委員長 平成10年度 総務委員会委員長
平成12年度 実学委員会委員長 平成13年度 副会長 平成15年度 監事 平成16年度 県出向監事

入会以来貢献度が高く、中央会に対する思い入れが人一倍強い会員です。

表紙写真テーマ

次年度会長生まれる!!

中本会長の推薦によって生まれた次年度会長ですが、産みのお母様にもご登場して頂き、まさに次年度会長生まれる!!の1枚です。

今月のワンショット

この母にしてこの人あり。今回は武海次年度会長を産み、立派に育てあげられたお母様にもスポットをあてたこの1枚を収めさせていただきました。



2月例会報告



平成17年2月15日(火)ホテルサンルート米子にて、役員担当による2月例会が開催された。綱領唱和の後、中本会長の挨拶があり新入会員2名へのバッジ授与が行われた。続いて第25回全日本トライアスロン皆生大会のボランティア部長に畠山広幸会員、マラソン部長に田中康裕会員、A S部長に福田一哉会員が任命され、中本会長より委嘱状ならびに任命状が授与された。引き続き臨時総会が開かれ、平成17年度会長に武海章県出向監事が中本会長より推薦され、満場一致で議決された。

委員長タイムでは、総務委員会の増井幸一委員長が『何事も自分の目で確かめることが大切である』と、海外勤務での経験談を語られた。



例会後半の講演には当会OBでもあり、現在(株)山陰ビデオシステム代表取締役の高橋孝之氏を講師にお迎えした。メディアを通しての情報発信の手法・効果、地域社会における今後の青年中央会が目指す事業活動のあり方について考えるきっかけとなればとの思いから「メディアを活用したまちづくり」についてご講演いただいた。高橋氏が作られた4つの会社のうちの中海テレビ放送についてのお話がとても印象的だった。中海テレビ放送は鳥取県の良さを米子から全国に向けて発信したいとの想いから、地元企業170社の賛同を得て平成元年から事業がスタートしたとのこと。中海テレビ放送では主に地域のニュースに力を入れ住み良いまちづくりを目指し、さまざまな問題を解決していけるような番組制作をされているとのことである。ニュースの中には長年にわたる特集を組んだり、地域住民とメディアが一体となって行政を動かし、問題を解決したこともあったという。最後に中海テレビ放送は通常のメディアとは違い、豊かで安全で住みよいまちにしていけるような地域に密着した番組制作をしたいと語られた。

講演を終え、昨年の全日本トライアスロン皆生大会の地域住民やメディアと一体となって行った中継のすばらしさにあらためて感動し、これからも地域のために活動していきたいと思う内容であった。



米子市政討論会に参加して

中海テレビ好評の企画1月30日(日)午後2時より中海テレビにて生放送「米子市政討論会・市議と語ろう米子の明日」に中央会代表として参加させていただいた。今回(第15回)のテーマは「文化のまちづくり」である。

番組冒頭で私が「米子には文化というイメージを感じない!」などと話したら、他の出演者のほとんどから「そんなことはない!」と反論され、いきなりリングの外に投げ飛ばされた気持ちになる。討論が進むうちに、確かに歴史的に「お上からの支配が薄い」[大衆・やはりもの文化]。良い意味で統制のとれていない文化。手作りの文化」これが米子なんだと感じる。

それとは逆に、個々で様々な文化活動をしている人が結構いるのだと感心する。こういう活動は地味でなかなか目立たないけれど、このつながりが米子の文化として継承されるのだと思う。行政はそういう人たちを導くのではなく、確実に後押し・応援していく存在であってほしいと強く感じた。

追伸:番組に出たあと、多くの人に「見たよ」って言われておどろいた。中海テレビは思っている以上に影響力のあるメディアだ。これも文化である! (←一人前の文化人気取りの私) ~経営委員会 植田委員長~

2月度委員会報告

総務委員会

平成17年2月3日(木) 於: ホールサムインかいけ 出席者/11名
議題/4月レクリエーション例会について

メディア・コミュニケーション委員会

平成17年2月9日(水) 於: ホールサムインかいけ 出席者/21名
議題/ハンサム制作、ホームページについて

人づくり委員会

平成17年2月7日(月) 於: ホールサムインかいけ 出席者/15名
議題/ロバート議事法について

まちづくり委員会

平成17年2月10日(木) 於: ホールサムインかいけ 出席者/14名
議題/3月担当例会について

経営委員会

平成17年2月3日(木) 於: ホールサムインかいけ 出席者/11名
議題/企業紹介冊子作成について

政治行政委員会

平成17年2月7日(月) 於: 米子ニューバンホテル 出席者/15名
議題/観光起業班の中間報告、担当例会について

国際交流委員会

平成17年2月3日(木) 於: ホールサムインかいけ 出席者/8名
議題/4月レクリエーション例会について

エコチャレンジ2004委員会

平成17年2月14日(月) 於: ホールサムインかいけ 出席者/8名
議題/1月担当例会反省について

会員拡大特別委員会

平成17年2月18日(金) 於: ホテルサンルート米子 出席者/8名
議題/情報リスト先訪問計画について

※役員会報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。
※詳細については各委員長までご参照ください。

委員会活動
レポート

突撃!!隣の委員会 お隣さんへHere we go!

～経営委員会編～

大寒波も去り、今年初めての大雪も解け始めた2月3日(木)にホールサムインがいけにて行われた経営委員会にお邪魔した。

委員会前の食事の席でたまたま隣に座った植田委員長に早速本日の議題を聞いてみた。「中央会名簿を見ただけじゃ、みんながどんな仕事をするのかわからないから、会員企業の詳細を載せた小冊子を作るんだ」なるほど、確かに分かりづらいと思っていた。それとなくイメージを膨らませながら、場所を変え会議室に入ると先ほどまでの和やかな雰囲気とは打って変わりピリっとした感じで会議がスタートした。



本日のテーマである、企業紹介冊子についての議論が若槻副会長、植田委員長を中心にメンバー全員が意見を激しくぶつけあいながら行われた。

過去(7年前)にも同じようなコンセプトのもと発行された『Hanjyo×2』を参考にしながら様々な意見が出された結果、今回はCD-Rにデータを入れ会員に配布するということが決まった。つくづく文明の進化、ITの進化を感じずにいられません。



最後に門協会員によるホテルサンルート米子の紹介が行われた。これは経営委員会恒例カリキュラムとなっているらしく、会員企業の会社概要・歴史・問題点・改善点・アピール等を発表し、他の会員が今まで知らなかったこと、異業種からの意見・アドバイスをしながら相互の理解を深め、経営に役立てるために定期的に行っているとのこと。これはおもしろい!と思った。植田委員長曰く、企業冊子の作ると思ったきっかけもこの延長線に出たアイデアとのことだった。会員みんなが中央会・地元を盛り上げようと真剣に取り組む様子が見えた。



委員長交流会



2月19日(土) 20日(日)三朝町 三朝温泉 プランナールみささにおいて、平成16年度 鳥取県中小企業青年中央会委員長交流会が行われた。

東部6名 中部2名 西部8名の委員長と県役員6名の総勢22名の参加で始まった交流会は2部構成で行われ、前半部が各委員長の自己紹介と委員会活動の報告、後半は西部の例会でも行われたワークショップ形式を用いた討論会であった。

前半は、各地区の委員長のもと委員会活動の実行状況を聞くことが出来たため後半の活動に向けてお互いの刺激になったのではないかとと思う。

今回は、後半の討論会がメインであったが、討議された内容は「例会・委員会の出席率向上」という事と「会員の増強の取り組みと問題点」という内容だった。各地区の委員長がABCの3班に分かれて討議し、それをまとめた発表が行われたわけだが、各テーマとも予定された時間では足りず時間延長するほど活発な意見が飛び交っていた。

出席率向上については、参加しやすい物にする事や委員長をはじめとしたメンバー間でのお互いのフォローが大切だということ。会員の増強については、各地区の今の取り組みとその現状を踏まえ、新規入会時点での十分な説明と配慮が、入会後の例会・委員会の出席率向上にもつながるので非常に大切であると再認識させられた。これ以外にも、ビジネス面をもっと出せば良いのではということや、人と人とのつながりを大切にした活動をもっと心がけるなど様々な意見が多数出た。



尚、討論会終了後の懇親会では、各委員長の交流がさらに深まったのは、言うまでもない。

去

2月の臨時総会にて次年度会長が決定した。これにより、3月には副会長も決定し、次年度の3役がそろそろ事となる。次年度会長の人事に当たっては、時の会長が指名推薦して役員会を経た上で総会により正式決定する。会員にとって会長人事に関しては、非常に興味のあるところであるが、歴代の会長を見る上でなるべき人が会長であったように思う。会員である限り誰もが会長になれるわけだが、その大役を受け止める器を誰もが持ち合わせているわけでもない。新年度当初、ぎこちない面も見えていた人も年度が経過していく上で立派な会長の顔になっていく。環境が人を変えるというが、会長ばかりではなく他の役員に関しても、その立場の顔となる。30期もいよいよ後半へとさしかかり、次年度の事も会員の中で話題に上りはじめてきた。卒会されていった先輩方は口々に「入会した限り、一度は役員を務めなさい。」と言われる。その理由は、なってみて初めてわかる事なのかもしれないが役員を経験するのは大切な事のように思う。自分自身ではわからないのかも知れないが、委員会の仲間たちが、まわりの人たちが、そして中央会が役員として育ててくれるのだから。

来

「青年中央会に未来は無い。」そのように言われたら皆、どのように思うだろうか。「何を言うか！」と憤慨する者もいれば納得する者もいるだろう。また、言葉を意に介さない者もいるかもしれない。様々な考え方、受け取り方をする人間がいる、それが正常な状態であると思う。投げ掛けられたことに對し、人の目を意識したり、沈黙する者が大勢を占めるならば、それは普通ではない。思考停止は論外である。

先日、淀江町で楽天 社長 三木谷氏の講演を聞いた。彼はその中で「最大のリスクは後悔すること」といった。それは彼の死生観に基くものであるという。様々な批判もあるが、彼は仕事に、人生に対して真剣である。講演の中で享楽的な面は見えなかった。最近、三木谷氏とよく比較されるライブドア 堀江氏もおそらく同様であろう。

同世代の我々はどうか。自分を鍛えているか。仲間と群れていないか。目先の楽しみを「未来、夢」と勘違いしていないか。硬直化したり流されていないか。議論を避けていないか。これらにすべて該当するとしたら、本当に未来は無い。未来(夢)は見るもの、待つものではなく、切り開くものだと思う。そう考えるのが青年であろう。

三木谷氏の講演会場で、現役会員よりOB会員のほうが多く感じたのは気のせいであってほしい。

現

中央会入会時に感じた事を、一年が経過した今思い起こす事がある。当時、何も分からないまま会の取り組みに参加し、これからの自分をどうすれば良いのか四苦八苦していた。そんな時、ある先輩から言われた一言が私を救ってくれたのを思い出す。「何をそんなに考えているんだ、形にこだわらずに自分らしさでぶつかっていけばいいんだ」。肩の力が抜けていくような感覚だった。社会に出てから今までの間、私自身色々な事で縛られて身動きが出来なくなっていた様に思う。縁あって中央会に入会する事が出来、その状態から解き放たれた気分である。最近特に思う事だが、今の世の中「うれしい時に喜び」・「悲しいときに悲しむ」という様な人間として当たり前な感覚を忘れてしまった人が多いのではないだろうか。今の時代に必要なのは、そういう感性を磨く事だと心から思う。「去・来・現」にもある様に、「感じる」そして「行動」しなければ「感動」は生まれない。中央会はまさに感動の場として相応しいのではないだろうか。これから色々な活動を通じて会員の皆さんと、もっともっと「感動」する喜びを分かち合える事を心から願う今日この頃である。

2005年

Good luck!! 卒会予定者

来る人あれば去る人もある。様々な伝統を作り上げた精鋭達に栄光あれ!! 本年、卒会予定者2名を紹介する新コーナーです。(入会順、入会時の写真を使用)



浜田一哉

生年月日…昭和35年4月2日
入会日…平成4年1月
在籍年数…14年
入会年度会長…宇佐見明

一番の思い出…入会して半年間フレッシュ委員会を終えて中海圏開発委員会に配属となったこと、食品団地のグラウンドにて運動会が催された。当時流行のイントロ当てクイズがあり妻とともに歌いまくった思い出がある。それは私にとって会に馴染む事ができたきっかけだったような気がする。そしてその年が14年間唯一の最優秀委員会を経験できた年となった。



南 順三

生年月日…昭和34年12月21日
入会日…平成4年1月
在籍年数…14年
入会年度会長…宇佐見明

一番の思い出…やはり地域交流委員会にてJrトライアスロンin岸本大会を立ち上げたことでしょうか。委員会回数30数回。大会当日までの連日の会議。会員の皆さんの協力を得て、今では地元根付いたことと誇らしく思います。あのときのパワーをもう一度と言われたら、卒会前の体に悪いのでご勘弁をと言うでしょう。

おめでとうございます

御誕生

高橋治朗会員

2月16日 長女 可楠子(かなこ)ちゃん



コピーをして名簿にお貼り下さい

(人) (つ) (り)

川端 今白子 A型
東亜ソフトウェア(株) マネージャー
システムコーディネーター
〒683-0804 米子市米原9丁目3-8
TEL 34-3040 FAX 33-3554

H 17.02 入会 (推薦者) 前田 (真) 渡辺 (一)

〈自宅〉米子市車尾南2丁目1-39
〒683-0008 S39.12.10 TEL 34-3554

〈コメント〉
2月より中央会に入会させていただくことになりました東亜ソフトウェア株式会社の川端今日子と申します。委員会、例会とまだ2回の参加ではありますが、諸先輩方のいきいきとした表情を拝見し、私も今後の活動を通じ自分自身を見つめなおし少しずつでも向上していきたいと思っております。活動の場を与えられたことに感謝し、何事にも積極的に前向きに活動に参加したいと思っております。何卒ご指導の程をよろしくお願ひします。

(山) (陰) (ビ) (デ) (オ) (シ) (ス) (テ) (ム)

本池 俊介 O型
(株)山陰ビデオシステム 制作部課長
TVCM・TV番組などの映像制作
〒683-0004 米子市上福原5丁目2-32
TEL 32-6100 FAX 22-8160

H 17.02 入会 (推薦者) 目次 (俊) 平新 (武)

〈自宅〉米子市大篠津町4680
〒683-0101 S40.10.11 TEL 28-8767

〈コメント〉
山陰ビデオシステムの本池俊介でございます。2月から皆様とともに活動させていただくことになりました。私どもの会社はさまざまな映像制作をしている会社です。これまでのいくつか中央会のビデオや番組を作らせていただきました。その度に「すごい事をしてる団体だなあ」と感じていました。が、まさか自分が入会させていただくとは思っていませんでした。今後は活動を通して、いろいろな方々との交流を深めていければと思います。

3月役員会報告

3月定例役員会が平成17年3月1日(火)、米子食品会館において開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・3月総会(臨時総会)の件
- ・4月レクリエーション例会の件
- ・その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

3月例会(臨時総会)案内

と き：平成17年3月17日(木) 19:00~
と ころ：夢みなとタワー(3F 夢みなとシアター)
演 題：パネルディスカッション「企業が儲からんと街は活性化しない!」
担 当：まちづくり委員会

